

電子技術キーワード解説

知っておきたい最新の動き

[RIA (Rich Internet Applications)]

インターネットの爆発的普及と歩調を合わせて、Web の活用技術も急速に進展しています。今や、Web の活用が経営力に大きな影響を与えていると言っても過言ではなさそうです。

Web の活用技術の中で、主体となるのが Web アプリケーションです。Web アプリケーションとは、Web の仕組み・機能を使ったインターネット、もしくはイントラネット上で提供されるアプリケーションソフトウェアのことです。つまり、Web サーバに配置したアプリケーションを、Web ブラウザなどのユーザーエージェント（「サーバ」に対して、「クライアント」の PC・携帯端末上）で利用できるようなソフトウェアのことを指します。例としては、ポータル/検索サイト、EC（電子商取引）サイト、掲示板、SNS（Social Networking Service）などがあります。

この Web アプリケーションの表現力や操作性を向上させ、クライアント側（PC・携帯端末側）のリソースの有効的活用を実現するのが、RIA(Rich Internet Applications)と呼ばれるものです。ユーザインターフェースに Flash、JavaApplet、Ajax (Asynchronous JavaScript and XML) などを用います。

ここで、RIA では先導的役割を果たしているアドビシステム社のプロダクトを例に解説すると、RIA は、「AIR」、Web アプリケーションを開発するためのオープンソースフレームワーク「Flex」、アニメーションオーサリングツール「Flash」、ビジネスプロセスの合理化および自動化を支援する統合製品「LiveCycle」などが該当します。

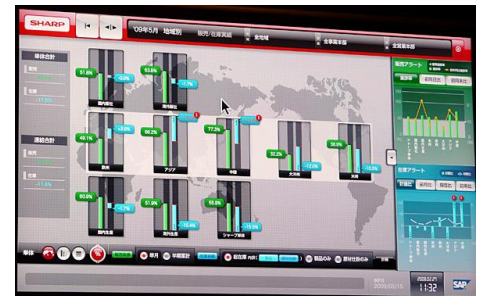
(注)

AIR : アドビシステムズ社が提供する、デスクトップアプリケーションの実行環境。クロスプラットフォームのデスクトップアプリケーションを、Web アプリケーション開発に利用される HTML、CSS、Ajax、PDF、Flash、Flex といった Web 開発に用いる技術で開発できる。

Flex: アドビシステムズ社が提供する、Web アプリケーションのフレームワーク。Flex で生成されたアプリケーションは Flash Player のインタラクションを利用する SWF ファイル（アドビシステム社の Web アプリケーションのためのファイルフォーマット）として実行する RIA となる。

Ajax : Web ブラウザがページ全体を読み込み直さなくとも、Web ページを随時更新できるプログラミング技術。

早々に RIA 技術を導入し、既に運用を始めているのがシャープです。SAP のバックエンドシステムと AIR を連携させて、同社の 65 インチ大型液晶ディスプレイで表示させるシステム「エグゼクティブ・コックピット」を構築しました。同システムでは、在庫状況や売り上げ実績、日報など全社の経営データをリアルタイムに引き出せるそうで、シャープの経営陣が既にこのシステムを使って日々の経営データを分析しているとのことです。



なお、RIA コンソーシアムが 2008 年 2~3 月にかけて行った市場調査によると、適用業務は「顧客管理」「販売管理」「プロモーション」が多く、「販売促進」をテーマにした活用が多いとなっています。RIA の導入状況は、「導入済み」が 20%。「導入予定」「検討中」「関心がある」を合わせた約 40%が、RIA の導入に関心を示しているとのことです。しかしながら、「業務で使っている Web アプリケーションのデザインに満足しているか？」の設問では、44%が「いいえ」と回答。「デザインのもっとも重要

な要素は何か？」という設問には、60%以上が「操作性」と回答。業務アプリケーションのデザインの必要性について、80%以上が「必要」と回答。結局、「デザイン（＝操作性）の向上こそが一番重要」とのことです。

アプリケーション技術の進展に対して、活用するためのデザインの検討などの足並みが揃うと圧倒的な効果が期待できそうです。今後の展開に期待したいと思います。

(http://www.atmarkit.co.jp/fjava/rensai4/webjousiki01/webjousiki01_1.html を参考)

<http://www.itmedia.co.jp/enterprise/articles/0802/27/news084.html> から図を引用、および参考)

Copyright (C) Satoru Haga 2008, All right reserved.

<p>技術・経営の戦略研究・トータルサポータ</p> <p>ティー・エム研究所</p>	<p>工学博士 中小企業診断士 社会保険労務士(登録予定) 代表 芳賀 知</p>
<p>E-Mail: GHH12525@nifty.com URL: http://tm-lab.a.la9.jp/</p>	